

【天龍村】 1人1台端末の利活用に係る計画

2025年3月

項目	内容	※留意事項
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	一人一台端末の活用により児童生徒が自ら学習できる力を伸ばす。 自ら学びの振り返りや新しい知識、情報に触れられる環境づくりを推進する。	・学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和3年1月)等の内容並びにこれらに引き続く政府の議論も踏まえ、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等を通じて実現を目指す学びの姿を記載する。
②GIGA第1期の総括	一人一台端末の導入と同時に校内ネットワーク環境の整備、周辺機器の整備も実施した。授業での活用は、すべての子が取り残されることのないよう、またほかの児童生徒との協働できる環境実現を念頭に推進してきた。このため、ICT支援員の設置により研修の機会を増やすなどの取り組みを行った。学習用ソフトを積極的に導入してきたが、教科によっては端末の積極的な活用までできていない場面もみられる。	・①も念頭に、令和5年度までの間にGIGAスクール構想の実現に向けて実施してきた端末と通信ネットワークの整備や、これらを活用した学びの実践のための取組等の総括を行い、その結果を記載するとともに、明かになった課題については、その解決策とともに記載する。
③1人1台端末の利活用方策	子どもたち一人一人が自らの課題を持ち、その解決に向かって追究する場面で、子どもたちが自ら学びを調整しながら追究できる自己調整学習を位置づけた りして、全ての子どもたちが学ぶことの喜びを実感できるようにする。そのために、児童生徒個々の特性を的確に把握したうえで、支援を適切に行うことができるように、職員も研修や授業研究に取り組み、端末の有効活用を図る。 また、自宅での学習が確実にできるように持ち帰りについても整備を行い、引き続き一人一台端末の環境を維持していく。	・①及び②を踏まえ、端末の利活用方策を記載する。その際、1人1台端末の活用、個別最適・協働的な学びの一体的な充実、学びの保障の視点に触れて方策を記入する。 端末の利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することを明記する。